



## 主演女優4人がロカルノ国際映画祭主演女優賞受賞、 ナント三大陸映画祭でも準グランプリ、必見の注目作!

演技経験のない4人の女性たちがロカルノ国際映画祭で最優秀女優賞を受賞し話題となった本作は、市民参加による「即興演技ワークショップ in Kobe」から誕生した。ほとんどの登場人物を演技未経験者がつとめ、総尺5時間17分の大作となった『ハッピーアワー』。これまでにない試みで映画をつくりあげたのは、映画学校の生徒たちを起用した4時間を超える大作『親密さ』や、トータル7時間を超える東北記録映画三部作(『なみのおと』『なみのこえ』『うたうひと』)など、常に挑発的な作品づくりを続けてきた濱口竜介。また蜷川幸雄作品の劇音楽を数々手がけてきた

阿部海太郎の音楽も映画を彩る。

30代後半の女性たちを主人公に、4人それぞれの家庭や仕事、人間関係を丁寧に描きながら、濱口竜介は、どこにでもいる“普通”の女性たちが抱える不安や悩みを、緊張感あふれるドラマとして見事に表現してみせた。今の私は本当にならなかった自分なのか?本当に伝えたいことを言葉にできているのか?ゆっくりと、迷いながら発せられる彼女たちの一言一言が、観ている者にスリリングな感動を届けてくれる。

今、世界中で大きな反響を呼んでいる、いまもっとも注目すべき話題作!



あかり



桜子



芙美



純

### 4人の女性たちが直面するそれぞれの人生の岐路

30代も後半を迎えた、あかり、桜子、芙美、純の4人は、なんでも話せる親友同士だと思っていた。純が1年にわたる離婚協議を隠していたと知るまでは……。中学生の息子がいる桜子は、多忙な夫を支えながら家庭を守る平凡な暮らしにどこか寂しさを感じていた。編集者である夫をもつ芙美もまた、真に向き合うことのできないうわべだけ良好な夫婦関係に言い知れぬ不安を覚えている。あかりはバツイチ独身の看護師。できの悪い後輩に手を焼きながら多忙な日々を過ごし、病院で知り合った男性からアプローチを受けるも今は恋愛をする気になれずにいる。

純の現状を思わぬかたちで知った彼女たちの動揺は、いつしか自身の人生をも大きく動かすきっかけとなっていく。つかの間の慰めに4人は有馬温泉へ旅行に出かけ楽しい時を過ごす。純の秘めた決意を3人は知る由もなかった。やがてくる長い夜に彼女たちは問いかける。

— 私は本当にならなかった私なの？

『ハッピーアワー』を観ることは、挑戦であり、同時に冒険でもあります。21世紀のコミュニケーションシステムが我々に課す挑戦であり、伝統的な物語映画のフォーマットを越えて我々を異なる体験へと連れ出すような冒険です。私たちの生活の5時間と少しを『ハッピーアワー』に費やすことを、私は心よりお奨めします。上に述べたような理由のみでなく、濱口竜介の映画は実際、まったく長くはないからです。むしろ、4人の素晴らしいヒロインと出会い、彼女たちの日常の経験を大小分かち合うとき、彼女たちともっと一緒にいたいと思うことになるのです。彼女たちを抱きしめ、彼女たちが生きることの苦難に耐えるのを助けるためだけでなく、私たち自身をもう少し理解するためにも。

— カルロ・シャトリアン  
(ロカルノ国際映画祭アーティストック・ディレクター)

製作総指揮: 原田将、徳山勝巳 プロデューサー: 高田聡、岡本英之、野原位 監督: 濱口竜介 脚本: はたのこうぼう(濱口竜介、野原位、高橋知由) 撮影: 北川晋雄 録音: 松野泉 照明: 秋山車二郎 助監督: 斗内秀和、高野徹 音楽: 阿部海太郎 製作・配給: 神戸ワークショップシネマプロジェクト (NEOPA, fictive) 宣伝: 佐々木瑠都、岩井秀世 2015/日本/カラー/317分/16:9/HD © 2015 神戸ワークショップシネマプロジェクト



主催: TAMA 映画フォーラム実行委員会  
お問合せ: 080-5450-7204 (事務局直通)  
042-337-6661 (永山公民館代表)  
※上映当日は 070-5580-9071(会場)へ

Twitter で最新情報をフォロー  
@tamaeiga

Facebook ページに「いいね!」で参加  
<http://www.facebook.com/tamaeiga>

会場: 多摩市立永山公民館  
ベルブ永山 5F  
(東京都多摩市永山 1-5)  
ベルブホールは [京王相模原線・小田急多摩線] 永山駅から徒歩 2 分